

家庭教育部

紹介書籍・DVD・セミナー



日本同盟基督教団家庭教育部

目 次

まえがき	2
《1》 書籍紹介	3
【1】「愛されたい妻と尊敬されたい夫」	3
著者：エマソン・エグリッチ	3
【2】「愛を伝える5つの方法」	6
著者：ゲーリー・チャップマン	6
【3】「夫たちよ、妻の話を聞こう」	9
著者：上沼 昌雄	9
【4】「夫婦のきずなを強めるために」	12
著者：ウェイン・A・マック	12
【5】「ファイヤーストーム 決断する愛」	15
著者：スティーブン&アレックス・ケンドリック	15
【6】「子どもに愛が伝わる5つの方法」	17
著者：ゲーリー・チャップマン、ロス・キャンベル(共著)	17
【7】「わが子をいつまでも愛する祈り」	20
著者：ストーミー・オマーティアン	20
【8】「結婚を考えている二人のために」	23
著者：水野 健	23
《2》 DVD・CD紹介	26
【1】「男の子を育てる」—実践的なアドバイスと励まし—	26
講演者：ジェイムス・C. ドブソン博士	26
【2】「父親に贈る黄金のことば」	29
講演者：パトリック・マケリゴット	29
《3》 セミナー紹介	31
【1】「エンリッチ・プリマリセミナー」	31
【2】「マリッジコースセミナー」	35
《4》 付録	38
【1】「著名人クリスチャンの結婚生活」	38
著者：中村敏	38

まえがき

ある日、知り合いの宣教師から勧められた本に、こんな例話がありました。

「女性が『着るものがないわ』と言ったら、『最近、新しい服を買っていないわ』という意味です。一方、男性が『着るものがないよ』と言ったら、『洗濯した、あるいはクリーニングに出した清潔な服がないよ』という意味です」。(中略) 男性はブルーのサングラスを掛け、ブルーの補聴器を付けて』生活をしており、『女性はピンクのサングラスを掛け、ピンクの補聴器を付けて』日々を暮らしているのです、と。だから夫婦が同じものを見、同じ生活を営んでいるようでも、それぞれに違う感じ方、違う受け止め方をしているのです。」(「愛されたい妻と尊敬されたい夫」 p. 〇〇より引用)

皆様のご家庭では、そんなことを経験したことはないでしょうか。私も少なからずショックを感じましたが、夫婦の間に感じていた『わだかまり、すれ違い』の原因はそんなところにあったのか、と納得することができ、逆に安心しました。もちろん、そのようなことだけが夫婦のすれ違いの原因ではないでしょうが、その本に触れなければ、知ることがなかった大切な『夫婦円満の秘訣』でした。

この『紹介書籍、DVD、セミナー』ブックレットは、4年前に家庭教育部が発足した当初から計画され、準備されてきた働きの一つであり、このたび、このような形で皆様にお届けすることができることを、主にあって感謝しております。

上に挙げた例のように、近年、夫婦、親子、子育てなどをテーマとした書籍やDVDが目立つようになってきました。それも1年に1冊、2冊というペースではなく、毎月のように新しいものが紹介されています。そのことはキリスト教会全体にとって喜ばしいことなのですが、その背後に夫婦、子育てなどの問題で悩み、困難を経験している多くのクリスチャンがいるという現実を露わにしています。

家庭教育部でも4年前の発足の当初から、「クリスチャンホームの教育啓発」を大切なテーマの一つとして捉え、今回のブックレット発行に至りました。このブックレットをぜひ各教会の壮年会、婦人会、学び会などの参考書として用いていただきたいと願っています。そのための工夫として、「質問コーナー」や「紹介した書籍が何回で学べるか」などの情報も記しています。4年を掛けて準備している間に、「絶版、売り切れ」等になり、掲載されなかった良書などもありますので、紹介しているものについては、ぜひ早めの取り組みをお勧めいたします。

このブックレットを通して、諸教会にあるそれぞれの家庭、夫婦の上に、神様の恵みと憐れみが豊かに注がれ、幸いなクリスチャンホームが築き上げられていくことを願っています。

2012年2月

日本同盟基督教団・家庭教育部
部長 中尾信一
部員 一同

《1》書籍紹介

【1】「愛されたい妻と尊敬されたい夫」

著者：エマソン・エグリッチ

- ・対象：結婚している男性・女性
- ・方法：夫婦を対象とした、または男性だけ、女性だけのグループ読書会に
- ・回数：各章を1回ずつとして、24回
(または、数章をまとめて1回として行うこともできる)

1. この本を読むにあたって

著者：エマソン・エグリッチ

1951年生まれ。フィートン大学とデュバク神学校より修士号、ミシガン州立大学より博士号。牧会を経て、1999年より「ラブアンドリスペクト・ミニストリーズ」代表。妻サラとの間に成人した1男2女がいる。

出版社：ファミリー・フォーラム・ジャパン

出版年：2010年

本の要点：

「妻は愛されたい、夫は尊敬されたい」。この基本的なニーズが満たされると、夫婦関係は円滑に回り、満たされないと「狂ったサイクル」に乗ってしまう。「夫は妻を愛し、妻は夫を尊敬する」。これができたら、「活性化サイクル」が回り始める。単純ですが、これは聖書に基づく教えで、科学的裏付けがあり、その効果は絶大です。

本書の目的は、からまり合った夫婦間のコミュニケーションを解きほぐし、夫婦が本来の機能を回復できるように助けることです。基本のみことばは、エペソ人への手紙5章33節「あなたがたも、おのおの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい」です。

「夫は、キリストが教会のために命を捨てたように、妻を愛しなさい」という説教を聞くことは多くありますが、「妻は、キリストに従うように無条件に夫を尊敬しなさい」と教えられることはめったにないのではないのでしょうか。しかし著者は、妻の愛と夫の尊敬の両面があって初めて、夫婦の「狂ったサイクル」が止まり、「活性化サイクル」が動き出す、また、結

婚生活は相手との問題ではなく、あなたとキリストとの問題なのだ(「報酬サイクル」と主張してします。(「翻訳者あとがき」より)

本の内容：

本書は、壊れている、あるいは壊れかけている夫婦のコミュニケーションを回復させるための働きとして用いられている「愛と尊敬セミナー」の中で、分かち合われている内容です。セミナーに参加した多くの夫婦からの便りやメールが、多数紹介されていることも、本書の魅力のひとつです。以下の4つの章から成り立っています。第1部から第3部までは、「妻の立場」から、そして「夫からの立場」から語られています。

①第1部「狂ったサイクル」

第1部では、なぜ、愛し合っていたはずの夫婦の会話が食い違い、すれ違い、お互いを理解できなくなっていくのか。そしてそれは次第にエスカレートして行き、「狂ったサイクル」と名付けられた負のスパイラルに陥っていくのかを丁寧に説明してくれます。

②第2部「活性化サイクル」

第2部では、妻と夫とを別々に扱い、互いに相手に対して「どうして欲しいと願っているのか」を具体的に知ることができます。伴侶に対して「こうしなさい」と命じるのではなく、「私はこうして欲しいと願っています」と説明することで、夫婦が互いをよりよく知ることができるように導いてくれます。

③第3部「報酬サイクル」

第3部では、このミニストーリーの中心テーマである「愛と尊敬」を実践していく時、どのような報酬(神の恵み)を経験できるか、を教えてください。特に「結論」では、「ピンク+ブルー=パープル」という数式を紹介し、夫婦の物の見方、考え方がいかに違うかという、新しい夫婦の視点を与えてくれます。しかしその違いを理解して向かい合う時、素晴らしい関係が生まれることを約束してくれています。

④付録 A～E

この付録には、「愛と尊敬」を実践する上で、大切な自己診断、確認すべきことのリストなど、大変有用な資料が提供されています。

2. 確認コーナー

- ①第2部では、夫に対し、妻に対し、それぞれに「考えるヒント」が用意されています。
 - ・各章を学び終えた後、質問に答えながら、共に分かち合いましょう。

- ②付録A～Eに、様々な質問が用意してあります。
 - ・質問に答えながら、共に分かち合いましょう。

【2】「愛を伝える5つの方法」

著者：ゲーリー・チャップマン

- ・対象：結婚している男性・女性
- ・方法：夫婦を対象としたグループ読書会に
- ・回数：10回

1. この本を読むに当たって

原題名：「The Five Love Languages」

著者：ゲーリー・チャップマン

アメリカ全国で著名な結婚カウンセラーおよび結婚セミナーのスピーカー。ムーディー・バイブル・インスチテュート卒業。フィートン大学人類学専攻、ウェイク・フォレスト大学人類学修士号、サウスウェスタン・バプテスト神学校修士号、博士号。ノースカロライナ州ウィンストン・セイラム、カルバリー・バプテスト教会副牧師。

出版社：いのちのことば社

出版年：2009年

本の内容

本書は、家庭生活、夫婦関係をよりよいものにしたいと願う人たちに向けて書かれた本です。

アメリカの離婚率は50%、日本では37%（2004年）のカップルが結婚関係に不満や悩みを持ち、離婚に追い込まれているのが現状です。

誰もが希望を持って結婚生活をはじめ、愛にあふれる良い夫婦関係を持ち続けることを望み、愛情ある家庭を築きたいと願っているのではないのでしょうか。

本書は、英語で書かれたものの翻訳本ですが、日本の文化に置き換えても十分に効果のある「五つの愛の言語」が書かれています。

是非、ご夫婦そろって本書を読み進めていくことをおすすめします。

そしてただ読むだけでなく、すぐに実践してみてください。著者チャップマン先生は、分かりやすく実践の方法を記して下さっています。

すばらしい結婚生活をおくっている方々は、自分たちの方法が間違っていなかったことの確認としてさらによりよい家庭生活を目指すために。逆にぎくしゃくしている結婚生活をおくっている方々は、「私たちには当てはまらな

いとか、もう改善の余地はないとか、無理だとか、必要ないとか……」といった思いを捨てて、お二人でもう一度よりよい家庭生活を目指して本書に書かれていることを実践されることをおすすめします。

※この本の英語版の販売数は300万部を突破し、アラビア語、ヒンズー語を含む34カ国語に翻訳されています。初版から現在(2007年)まで「ニューヨーク・タイムズ」のベストセラー・リストで5位を維持しています。

2. 確認コーナー

1回目(第1～3章)

あなたの「ラブタンク」の状態を把握しましょう。

お互いの「ラブタンク」がどうなっているのかを話し合しましょう。

2～6回目(第4～8章)

第4～8章、各章にある課題に取り組みましょう。

7回目(第9章)

あなたは「肯定的な言葉」「クオリティ・タイム」「贈り物」「サービス行為」「身体的なタッチ」の5つの愛の言語のうち、どれがあなたとあなたの伴侶の愛の一次言語かを話し合しましょう。

<宿題>

自分の、あるいは伴侶の愛の一次言語がよく分からないときは、P.245からの確認テストを二人でそれぞれ実施してみましょう。結果が出たらお互いの愛の一次言語について語り合い、お互いに自分がしてもらいたいことをリストアップして結婚生活の改善を図って下さい。

8回目(第10～11章)

愛の一次言語を学び、実行したことで結婚生活にもたらされた変化について分かち合しましょう。

9回目(第12章)

伴侶が敵とならないために夫と妻がなすべき事を確認し合しましょう。

10回目(第13～14章)

お二人にお子さんがいるなら、どれがあなたがたのお子さんの愛の一次言語であるのか、またどのようにして愛の言語を伝えるのか、話し合ってみましょう。

※一足飛びの改善を目指さず、ある程度の期間を取り、必ず記録を取りながら二人で改善された喜びを分かち合ってください。

3. あかしをしよう！

- ① 結婚生活が改善されたカップル、あるいはその希望が見えてきたカップルは、ぜひそのことを教会であかししていきましょう。
 - ② ノンクリスチャンの知人の中でもあかししていきましょう。とても良い信仰のあかし、伝道のチャンスとなることでしょう。
- ※他の人にあかしをすることで、自分たちの祝福がより確認でき、困難な中にある人たちを励まし、あなたがたご夫妻の次に結婚の祝福にあずかる人たちが増やされることを目指し、祈ってあかししましょう。

【3】「夫たちよ、妻の話を聞こう」

著者：上沼 昌雄

- ・対象：結婚している男性・女性
- ・方法：夫婦を対象とした、または男性だけのグループ読書会に
- ・回数：各章を2～3回に分け、計6～9回

1. この本を読むにあたって

著者：上沼 昌雄

聖書神学舎やシカゴ・ルーテル神学校などを卒業し、神学博士号。
現在、カリフォルニアに在住。

「聖書と神学のミニストリー」代表として、プロミス・キーパーズの理念に基づいた男性集会や夫婦セミナーなどの講師として活躍中。

出版社：いのちのことば社

出版年：2003年

本の要点：

この本は、著者のセミナー等の経験を通して、主に男性の視点から、男性の霊的な深まりを目的として書かれました。その焦点となることは、結婚している男性が妻の話をじっくりと聞くことを通して深められる霊性の深まりです。著者は、「妻の話をじっくりと聞く」ということが、パウロの命じた夫がキリストのように妻を愛する、十字架の愛の実践として、位置付けています。著者のバックグラウンドとしてあるのは、プロミス・キーパーの理念です。

※プロミス・キーパーについては、「プロミス・キーパーズ・・・7つの約束」

(いのちのことば社) 参照

本の内容：

この本は、3つの章から成り立っており、「はじめに」には、この書のバック・ボーンとなる、著者とプロミス・キーパーの集会での体験が書かれています。

(1) 第1章 男性として

男性として受ける5つの誘惑が説明されています。

それは、

- ① お金のこと（お金に振り回されること）
- ② 性的誘惑のこと（性の両面・・・誘惑としての側面と夫婦がより親密にな

っていく面。この項目では特に前者の側面)

- ③ プライドのこと（自分の罪や非を見えなくする）
- ④ コントロールのこと（相手の自由を認めず、自分の思うままにしたいと願う）
- ⑤ 父親のこと（父親から受けた傷）

この章の後半では、失敗や罪を犯した体験を集会で素直に言い表すことにより、神のみ前に赦され、回復される恵みに関して、体験談が収録されています。

(2) 第2章 夫として

エペソ書5章25節を中心に、特にキリスト者の夫として、妻をキリストのように愛するとは、具体的にどういうことであるのかが、述べられています。特に、著者の男性集会で、共通のテーマとして浮かび上がってきたのが、「妻の話を聞く」ということでした。

著者は、キリストのように妻を愛する、ということが、具体的に「妻の話をじっくり聞く」と言うことの中に実践されていくことを説いています。そのことを通して、霊的に深められることが解き明かされます。

(3) 第3章 さらに夫として

この章では、妻の話を聞くことが、神との関係と対比され、妻の心に向き合うことが、いかにして、キリストの愛の実践に深められていくのかが、より具体的に解き明かされてゆきます。十字架を負い、自分に死に、キリストの愛に生きていく、と言うキリスト者の信仰生活の根本が、まさに身近な「妻の話を聞く」と言うことの中にあるのです。

2. 確認コーナー

(1) 第1章に関する質問

- ① 男性が受ける5つの誘惑のうち、あなたは今どのような誘惑に直面しているでしょうか。
- ② あなたは、信頼してそのことを分かち合える人あるいは交わりがありますか。
- ③ 自分が受けている誘惑を分かち合えないとしたら、何が妨げとなっているのでしょうか。

(2) 第2章、第3章に関する質問

- ① この本を読んで、「妻の話をじっくり聞く」という著者の主張に、どのような感想を持ちましたか。
- ② あなたは、じっくり向き合って妻の話を聞いていますか。

- ③ 妻の話を聞くために、具体的にどのようにすればよいでしょうか。
- ④ 著者は、妻の話を聞くことが、十字架の愛の実践であることを説いていますが、そのことに、喜びを感じたことはあるでしょうか。

3. あかしをしよう！

- ① あなたが、妻の話をじっくり聞いたとき、あなたの妻に起こった変化についてお互いにあかししましょう。
- ② 妻の話をじっくり聞くとき、どのような態度が良かったのか、お互いに分かち合いましょう。
- ③ 妻の話をじっくり聞いたとき、あなたの心に起こった変化について、分かち合いましょう。ぜひ、ほかのクリスチャンの友人やノンクリスチャンの友人に妻の話をじっくり聞くことの素晴らしさをあかししていきましょう。

【4】「夫婦のきずなを強めるために」

著者：ウェイン・A・マック

- ・ 対象：結婚している夫婦。結婚を考えているカップル
- ・ 方法：結婚カウンセリング、結婚前カウンセリングとして。グループで学ぶことも。
- ・ 回数：各章を1回ずつで、計7回
(各章に詳細な質問が用意されているので、それを用いて)

1. この本を読むにあたって

著者：ウェイン・A・マック

マスター大学、聖書カウンセリング学部学部長。フィラデルフィア神学校修士課程、ウェストミンスター神学校博士課程修了。著書として『あなたの家族』、『神の道；聖書的な人生へのガイド』、『個人と対人関係における諸問題』、『家族と結婚生活における諸問題』、そしてデビッド・スワヴィーとの共著『神の内にある人生』等がある。

出版社：ホームスクーリング・ビジョン

出版年：2006年

本の要点：

神を敬う良い結婚生活というものは、なんの努力もなしに手に入れられるというものではありません。夫と妻が共に結婚に身を捧げ、たゆみなく祈り続け、常に努力し続ける結果生じる賜物です。人生でもっとも重要な人間関係のために努力することは、決してやさしいことではありません。時間とエネルギーを費やし、真剣に向き合わなければならず、痛みを伴うかもしれませんが、自己診断を行い正直に自分を評価しなければなりません。しかし祈りをもってそのような努力を行う時に、必ず豊かな報いが与えられます。

多くの夫婦が、数々のチャレンジに直面しています。深いきずなで結ばれた夫婦関係を、実現不可能な理想と片付ける必要はありません。著者は夫婦の困難を理解し、如何に成功を勝ち取るかを明らかにしています。夫婦それぞれの役割と姿勢、コミュニケーションの方法、お金の使い方、性生活、子育て、そして家族の信仰等に関する聖書からの洞察と実践の方法を大変分かりやすく、紹介しています。

教会において結婚カウンセリングの助けとして、またこれから結婚を考える若い世代に結婚への備えに導くためにも、多くの夫婦が必要としている領域で、真の希望とサポートを第一線で活躍するカウンセリングの教授が提供しています。

本の内容：

著者は牧師としての経験、またカウンセラーとしての経験から、「多くの結婚生活が聖書的基準からはるかにかけ離れています。そのような結婚生活を送っているなら、神が結婚に計画している充足感と喜びを味わうことはできないのです」と記しています。本書は夫婦が真にひとつとなることを願って書かれたもので、聖書的な基準、原則をもとに自主的に学習できるように、各章ごとに『話し合いと学びのために』という項目を設け、読者ひとりひとりが実践的かつ個人的な学びを深めることができるように配慮されています。

第1章 「神が定めた結婚の目的」

創世記2：18～25に記されている結婚に関する「神の青写真」について学ぶ。その中で「離れ、しっかりと結ばれ、そして一体となる」という概念を提示し、説明します。

第2章 「妻の役割」

妻が夫を完成させるべき立場にあること、妻は夫をしっかりとほめてあげなければならないということを、聖書の御言葉からていねいに説明します。

第3章 「夫の役割」

どうすれば、夫が妻を完成させることができるのかについて記しています。夫婦としての一体感は夫が聖書に定められた役割を正しく知り、果たしていく時にのみ成就します。仕える指導者としての夫の役割について、詳しく説明しています。

第4章 「コミュニケーション」

夫婦のきずなを深め、一体感を得るためには、「心を開いて話す」事が必要不可欠です。そのために必要な事、注意すべき事を具体的、実践的に紹介しています。

第5章 「経済的な一致」

夫婦が深いレベルで一致できない理由のひとつに、お金に対する異なる価値観があります。経済に関する聖書的原則をしるし、具体的な行動計画も盛り込まれています。

第6章 「性的一致」

性的不一致となる原因は何か。夫婦の性的関係に関して、聖書は何と言っているのか。教会でなかなか語られることが少ない問題をも、ていねいに取り扱っています。夫婦の間で性的一致をはぐくんでいくための実践的アドバイスをも紹介しています。

第7章 「子育て」

子どもは、夫婦を引き付ける磁石のような力もあり、夫婦を引き離すくさびのような役目もします。夫婦の一致の鍵を握るもう一つのテーマである「子育て」も御言葉を持って、ていねいに取り扱っています。34にわたる具体的な「How To」を章末に記しています。

(第8章 「家族のキリストへの信仰」)

2. 確認コーナー

※本書には、各章に大変詳細な質問が用意されていますので、そちらを用いられることをお勧めします。その「話し合いと学びのために」という項目を用いて、グループでの分かち合い、教会における夫婦カウンセリングなど、有効的に学び、また実践を励ますことができるでしょう。

【5】「ファイヤーストーム 決断する愛」

著者：スティーブン&アレックス・ケンドリック

- ・対象：夫婦
- ・方法：夫婦のグループでDVDを觀賞して分かち合う
- ・回数：1回目 DVD鑑賞（2時間）
2回目 40日後実践報告分かち合いパーティ

1. このDVDと本を活用するにあたって

DVD名：「ファイヤーストーム」118分

書籍名：「ファイヤーストーム

決断する愛—夫婦の危機を救う40日プラン—」

著者：スティーブン&アレックス・ケンドリック

バプテスト教会の副牧師、メディア担当牧師。

翻訳者：土屋治子、桑谷美穂訳

出版社：ホームスクーリング・ビジョン

出版年：2009年

DVDの要点：

ケイレブは、優秀な消防士。仕事に誇りを持ち、強いチームワークの中で仕事に打ち込んでいた。そんなある日、妻のキャサリンに一方的に離婚を切り出される。混乱するケイレブに、父が教えた解決策が「決断する愛」だった。半信半疑ながら、書かれている通りにキャサリンに関わり続け、40日。二人は絆を取り戻す。

愛を自分から始める動機付けのDVD。

本の要点：

愛を自分から始めるようとする人のために、40日プログラム。

40日かけて実践する。毎日三つの作業を行う。

作業1：愛の特徴について、一つのポイントを学ぶ。

作業2：伴侶のために実践する具体的な課題を行う。

作業3：日記—学んだことや実践したこと、相手の反応と自分の感想を記録する。

2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

- ① キャサリンについて、どんなことを感じましたか。
- ② ケレイブについて、どんなことを感じましたか。
- ③ 自分たち夫婦のコミュニケーションについて考えましょう。
どんなふうにコミュニケーションしているでしょうか。
夫婦の話題はどのようなものでしょうか。

3. 実践しよう！

40日プランに挑戦してください。

40日後の日程を決めて、報告分かち合いパーティーをしましょう。

【6】「子どもに愛が伝わる 5 つの方法」

著者：ゲーリー・チャップマン、ロス・キャンベル(共著)

- ・対象：結婚している男性・女性
- ・方法：夫婦を対象とした、または男性だけ、女性だけのグループ読書会に。
- ・回数：12回

1. この本を読むにあたって

原題名：「子どもに愛が伝わる 5 つの方法」 The Five Languages of Children

著者：ゲーリー・チャップマン

米国でのベストセラー「愛を伝える 5 つの方法」シリーズの著者。マリッジアンドファミリーライフのコンサルタント取締役。ノースカロライナ州ウインストン・セイラム、カルバリーバプテスト教会副牧師。

ロス・キャンベル

全米でベストセラーになった「本当の愛をどう伝えるか - 親と子コミュニケーション学」の著者。テネシー大学医学部小児科及び精神科の准教授。世界各地で親子関係に関するセミナーを行っている。

出版社：いのちのことば社

出版年：2009年

本の内容：

同じ著者による「愛を伝える 5 つの方法」に続き、本書を紹介します。多くの親が子どもに愛情をどのように伝えたらいいか迷っています。また子どもは自分が愛されているという実感を持っていません。本書は愛を理解する 5 つの方法を示し、それぞれの子どもに合った表現方法を用いる事を薦めています。読み進める中で、子ども理解に気づきを与えられ、愛を伝える方法についてのヒントが得られる事でしょう。

本書は、12 章で構成され、各章が約 20 ページです。読書会形式で学ぶために章ごとの分かち合い項目を載せましたので、教会の学びに利用する事ができます。本書を単なるハウツー本として用いるのではなく、親たちの悩み、課題を分かち合い、祈り合う事を目的として学んではいかがでしょうか。

2. 確認コーナー

- 1章:愛こそが土台となる。 p 12～38
- ① 子どもを無条件に愛する事について、p26のリストを参考に確認しましょう。
 - ② 子どもに愛の表現が伝わらなかったエピソードがありますか。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 2章:愛の言語 その1 スキンシップ p 39～61
- ① 乳児期のスキンシップについて振り返りましょう。
 - ② あなたの子どもはどのようなスキンシップを喜ぶますか。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 3章:愛の言語 その2 肯定的な言葉 P 62～83
- ① あなたの子どもはあなたのどのような語りかけを喜びましたか。
 - ② あなたの子どもはあなたのどのような語りかけを嫌がっていましたか。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 4章:愛の言語 その3 充実した時間 p 84～106
- ① あなたの子どもは両親とのどのような時間を喜びましたか。
 - ② p102～106のアイデアの中から得られたヒントを言いましょう。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 5章:愛の言語 その4 贈り物 p 107～127
- ① あなたの子どもが両親から贈り物を貰った時の事を思い出してみよう。
 - ② p114のゆがんだ贈り物から気づいた事を言いましょう。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 6章:愛の言葉 その5 尽くす行為 p 128～152
- ① 尽くす行為の注意点は何か。
 - ② p151～152のアイデアの中から得られたヒントを言いましょう。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 7章:我が子の第一言語を見つけるには p 153～174
- ① ここまで学んできて、あなたの子どもの第一言語は何だと思いましたか。
 - ② 第一言語を見極めるためにどのような経過をたどりましたか。
 - ③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。
- 8章:しつけと愛の言葉 p 175～204
- ① しつけのためにあなたは、P189～198にある方法のどれを用いてきましたか。

② 愛の第一言語を用いてのしつけについて、注意する点を挙げましょう。

③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。

9章：学習と愛の言葉 p 205～226

① 親子関係と学習意欲にはどのように関係があると思いますか。

② 子どもの教育に親はどの様に関わるのが良いでしょうか。

③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。

10章：怒りと愛 p 227～255

① 受動攻撃行動についてここではどう説明していますか。

② 子どもが自分の怒りを処理するために親はどんな助けができますか。

③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。

11章：シングルペアレントと愛の言葉 p 256～275

① 片親の子どもの葛藤が如何なるものかを考えてみましょう。

② 離婚を経験し、一人で子育てをしている方への援助について考えましょう。

③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。

12章：夫婦の間で愛の言葉を語る p 276～296

① 夫婦の間の愛の言葉について考えて見ましょう。

② あなたの配偶者の第一言語は何ですか。また、苦手な言語は何ですか。

③ この章で気づかされた事を分かち合いましょう。

【7】「わが子をいつまでも愛する祈り」

著者：ストーミー・オマーティアン

- ・対象：若いお母さんから孫の心配をするベテランお母さんまで幅広い年齢層で。お母さんの思いを理解する意味で、お父さんたちも。
- ・方法：グループ読みあわせ、分かち合う。
- ・回数：9回（1回1章ずつ）

1. この本を読むにあたって

著者：ストーミー・オマーティアン

作家、作詞家、シンガー。祈りに関する著書が数々邦訳されている。
二児の母。

翻訳者：土屋治子訳

出版社：いのちのことば社

出版年：2010年

本の要点：

親であることにおいて知らなければならないことは、「子育てに終わりはない」ということ。生涯かけて親としてできることは祈ること。子育てのポイント、何を願い祈るべきかがまとめられている。目の前の対処に追われてしまいがちな子育ての中で、必要な視点を得ることができる。そして、若いお母さんから孫の心配をするベテランお母さんまで共に分かち合い、祈り合うことができる。

本の内容：

序：成人した子を持つ親が知るべき七つのこと。

- ① 子育てに終わりはない
- ② 大人になった子を親は矯正できない
- ③ 神にはすべてを変えることができる
- ④ 自分を責めるのはやめる
- ⑤ 赦しの必要性
- ⑥ 唯一完璧な親である方の存在を知る
- ⑦ 私たちは「心からこの子のために祈ったのです」ということができる

- 第1章：わが子が人生の目的を理解できるように祈る
- 第2章：わが子の仕事と経済的自立のために祈る
- 第3章：わが子が否定的感情から解放されるように祈る
- 第4章：わが子が悪い影響と破滅的な習慣を拒否できるように祈る
- 第5章：わが子の結婚と子育てのために祈る
- 第6章：わが子がよい人間関係を築けるように祈る
- 第7章：わが子が危険から、試練から守られるように祈る
- 第8章：わが子が、神様の備えてくださる将来へと歩めるように祈る

2. 確認コーナー

分かち合いましょう。

序：成人した子を持つ親が知るべき七つのこと

- ①「子育てに終わりはない」ということを知って、どんな思いになりましたか。
- ②子育てについて、自分を責めていることはありますか。そのような時はどうしていますか。これからはどうしたいでしょうか。

第1章：わが子が人生の目的を理解できるように祈る

- ①あなた自身は、人生に目的意識がありますか。どのようなものですか。
- ②あなたの子どもに神様から与えられている賜物を挙げてください。

第2章：わが子の仕事と経済的自立のために祈る

- ①あなたは、自分の子どもについてどんな夢を描いて期待していますか。或いは期待していましたか。そのためにどんなことをしてきましたか。
- ②あなたの子どもはどんな性格ですか。

第3章：わが子が否定的感情から解放されるように祈る

- ①あなた自身の中に否定的な感情はありませんか。そういう感情がある時はどうしていますか。
- ②あなたの子どもはどんな否定的感情を持っていると思いますか。なぜそう思いますか。

第4章：わが子が悪い影響と破滅的な習慣を拒否できるように祈る

- ①子どもたちの置かれている環境はどのようなものか知っていますか。どんな価値観の中に置かれているのでしょうか。
- ②あなたは、社会の価値観からどんな影響を受けているのでしょうか。

第5章：わが子の結婚と子育てのために祈る

- ①子どもにどんな結婚相手を望んでいますか。或いは望んできましたか。
- ②クリスチャンホームということで意識して大切にしてきたことはありますか。どんなことですか。

第6章：わが子がよい人間関係を築けるように祈る

- ①あなた自身の間人間関係について振りかえましょう。影響を与えた人はいますか。どんな人からどんな影響を受けましたか。
- ②子どもの兄弟関係はどうでしょうか。将来どうなってほしいと思っていますか。

第7章：わが子が危険から、試練から守られるように祈る

- ①あなたの子どもは危険な目にあったことがありますか。その時はどうしましたか。
- ②自分の人生を振り返りましょう。危険な目にあったり、試練にあった時は、どうしましたか。

第8章：わが子が、神様の備えてくださる将来へと歩めるように祈る

- ①あなたの子どもの頃の夢はどのようなものでしたか。それを今はどう思いますか。
- ②あなたの子どもの名前の由来はなんですか。生まれた時、どんな思いで祈りをささげましたか。

3. 実践しよう！

祈りの時間を決めましょう。
具体的に祈りましょう。

【8】「結婚を考えている二人のために」

著者：水野 健

- ・対象：結婚する前の男性・女性、結婚したばかりの夫婦
- ・方法：結婚カウンセリングの教材のひとつとして
- ・回数：結婚前13回 結婚後4回

1. この本を読むにあたって

著者：水野 健

1954年石川県金沢市出身。東京理科大学理学部物理学科を卒業。
聖書宣教会で聖書を学ぶ。

千葉県流山市/流山福音自由教会、福岡県/福岡福音自由教会を立ち
上げ、現在枚方コミュニティチャペル牧師。日本カウンセリング学
会会員。ご希望の方には、カウンセリングをします。

『夫と妻のしあわせづくり』（いのちのことば社、2005年夏出版）

『愛する人とあなたのためのキリスト教葬儀』

（いのちのことば社、2007年11月に出版）

出版社：いのちのことば社

出版年：2001年

本の要点：

時代の流れや変化は激しく変わる時に本書は古いと思われるかも知れませんが、クリスチャンの結婚準備から結婚したばかりの人への最も基本的なことを教えています。

クリスチャンは何のために結婚をするのか、デートをして結婚を考え、準備をする若いカップルに必要なアドバイスや結婚前のカウンセリングのテキストとして、また二人で一緒に学べるようにも配慮してあります。結婚前でも、結婚の直後にも長い結婚生活に祝福をもたらす本であると思います。

本の内容：

この本は大きく二つの内容に成り立っています。これから結婚を考えている二人のために、もう一つは結婚したばかりの夫婦のために書かれています。

①結婚を考える二人のために

- 第1章 恋愛をしている人は注意しよう
- 第2章 デートはどのようにしているか
- 第3章 どうして結婚までまたなければならないのか
- 第4章 結婚前に何を学ばなければならないのか
- 第5章 二人の学び1—結婚する前に話し合うこと・すべきこと—
- 第6章 二人の学び2—なぜあなたは結婚するのか?—
- 第7章 二人の学び3—結婚式の誓いとは—
- 第8章 二人の学び4—なぜその人が好きなのですか?—
- 第9章 二人の学び5—お互いに助け手!—
- 第10章 二人の学び6—愛と従順—
- 第11章 二人の学び7—コミュニケーションの大切さ—
- 第12章 二人の学び8—性の交わり—
- おわりに —結婚は大事業—

②結婚したカップルのために

- 第1章 結婚生活では何が問題となるのか
- 第2章 結婚とは、ほかにない親密な関係
- 第3章 親密さを深めるために
- 第4章 より成長した関係になるために

2. 確認コーナー

①結婚を考える二人のために

- (1) 恋していることと、愛していることの違いは何でしょうか。本当にデートは必要なのでしょうか。
- (2) あなたがたは、なぜ、結婚したいのですか。
- (3) 幸せな結婚生活のためには、そうしたいという強い思いと、結婚を二人で創り上げようとする願いと努力が必要です。そのために心に留めなければならないのは何でしょうか。

②結婚したカップルのために

- (1) 結婚生活で起こる葛藤・問題の原因などをみてきましたが、あなたはどのような葛藤・問題を感じていますか。お互いを感じていることを話し合ひましょう。
- (2) これまでの結婚生活で二人で克服してきた問題がありましたか。どのように克服してきましたか。
- (3) 親密な結婚生活をしていると思いますか、結婚して親密さが増して

いると思いますか。

- (4) 愛のことばは五つありますが、あなたの伴侶の愛のことばはどれだと思いますか。

3. あかしをしよう！

- ① 本当の幸せな愛は学ばなければなりません。二人が愛するために、良い結婚の準備のために、互いに話し合ったこと、互いに守ったことをあかししましょう。
- ② 夫婦のコミュニケーションは大切なものです。あなたの良い夫婦コミュニケーションを紹介してみてください。

《2》 DVD・CD紹介

【1】「男の子を育てる」—実践的なアドバイスと励まし—

講演者：ジェイムス・C. ドブソン博士

- ・対象：男の子を持つ両親。男の子と関わる教育関係者（CS教師）。
- ・方法：グループでの鑑賞。
- ・回数：8回

1. このDVDを鑑賞するにあたって

原題名：「bringing up BOYS」

講演者：ジェイムス・C. ドブソン博士

心理学者。アメリカ福音派クリスチャンの指導者。1977年に彼が創立したフォーカス・オン・ザ・ファミリーの代表。

制作/発売元：ファミリー・フォーラム・ジャパン

協力：フォーカス・オン・ザ・ファミリー

DVDの内容：

「男の子を育てる」は、アメリカのキリスト者である心理学者、ジェイムス・C. ドブソン博士による講演の収録です。男の子をどのように育てていけばいいかと悩む両親、教育関係者がこの講演を聞きに集まっています。

ドブソン博士は、この講演の中で、アメリカの当時（2004年）の現状について青少年の自殺の80%、少年法に触れる者の95%が男の子であると報告しています。さらに、薬物依存は男子が女子の3倍、学習障害は6倍等々。これらのことを通じて、いかに男の子が、悩みの中を歩んでいるかを指摘しています。日本の現状は同じではありませんし、環境や文化の違いはあることを踏まえなければなりません。青少年を取り巻く環境は年々アメリカに追随していっているように思えます。また、男の子特有の課題には、多くの共通点があるでしょう。この課題に取り組むための手がかりを見つけるためにこの講演を聴くことは、有益であると思います。

構成は、4つのセッションからなり、さらに4つの章に分かれています。それぞれが10分前後ですので、2つの章を一組として分かち合いのヒントを用意しましたので、併せてご利用ください。講演を聴くだけでなく、さらにグループで分かち合いことによって気づかされ、励まし合い、教えら

れたことを実践していく勇気が与えられるのではないのでしょうか。

2. 確認コーナー

第1回

(1) セッション1 「深刻な男の子の問題」

1章「男の子の問題」〔10分〕 2章「家庭崩壊」〔8分〕

- ① 男の子と女の子の違いをどのような時感じますか？
- ② 家庭崩壊の影響を男の子が受けやすいと感じたことがあれば分かち合いましょう。

第2回

(2) セッション1 「深刻な男の子の問題」

3章「父親不在の影響」〔9分〕 4章「子どもは仕事より大切」〔8分〕

- ① 父親が男の子の模範になっていないことの影響についてどう考えますか？
- ② 自分自身の子ども時代の父親との思い出について分かち合いましょう。
- ③ 仕事よりも仕事を優先した時の家族の反応で気づかされたことは何ですか？

第3回

(3) セッション2 「心の傷といやし」

1章「虐待を受ける子」〔7分〕 2章「メディアの影響、いじめ、銃撃事件」〔19分〕

- ① 子ども時代のいじめや虐待がどのような影響を残すか話し合いましょう。
- ② あなた、またはあなたの子どもには、そのような経験がありますか。

第4回

(4) セッション2 「心の傷といやし」

3章「大人の責任」〔5分〕 4章「質問と回答」〔19分〕

- ① あなたの子どもが眠れない、摂食障害、いじめなどを経験したことがありますか？
- ② 子どもが傷を受けてつらいときあなたは親としてどのように関わりましたか？
- ③ メディアの影響をどのように考えますか？

第5回

(5) セッション3 「忙しすぎる親たち」

1章「イントロダクション」〔7分〕 2章「父が息子に教えること」〔5分〕

- ① あなたの息子にとって父親はどのような存在でしょうか。
- ② あなたの息子が父親を特に必要としていたと感じた時の事を分かち合いましょう。
- ③ あなたの息子は、父親から何を学んでいるでしょうか？

第6回

(6) セッション3 「忙しすぎる親たち」

3章「幼児期の大切さ」〔10分〕 4章「家族のために時間を作ろう」
〔13分〕

- ① 幼児期の父親の関わりが大切だということを知りどのように考えたか分かち合いましょう。
- ② 一日の中の大切な四回の中であなたが家にいるのは何回ですか？

第7回

(7) セッション4 「同性愛とは」

1章「イントロダクション」〔9分〕 2章「同性愛について」〔12分〕

- ① 聖書は同性愛をどのようにいちづけていますか？
- ② メディアのゆがみについて分かち合いましょう。

第8回

(8) セッション4 「同性愛とは」

3章「ジョン・ポーク氏」〔13分〕 4章「マイク・ヘイリー氏」
〔16分〕

- ① 男の子が、父親に認められる事が大切であると感じたことがありますか？
- ② 心に残ること、考えさせられたことを分かち合いましょう。
- ③ 男の子が父親から認められる事が大切であると感じることがありましたか？

3. あかしをしよう！

将来を担っていく子どもたち、特に男の子への関わり方について、このDVDから教えられたことについて、他の人にあかししましょう。

【2】「父親に贈る黄金のことば」

講演者：パトリック・マケリゴット

- ・対象：お父さんのグループ。家族。
- ・方法：家族やグループでCDを聴いて分かち合う。
- ・回数：1回

1. このCD34を鑑賞するにあたって

講演者：パトリック・マケリゴット

ビデオの講演者パトリック・マケリゴット先生は、1939年ロンドン生まれ。17歳で洗礼をうけ、宣教師として1965年来日しました。1984年には、小林一茶の研究で博士号を取得しています。このビデオの中でも一茶の句「御免なり。将棋の駒は箱のうち」を引用しています。その意味はビデオでご確認ください。三人の娘の父として、どのように歩んできたか、ご自身の体験を交えて講演しています。

タイトル：ファミリーフレンズCDコレクション

子育てシリーズ9枚組2. 700円の1枚
(バラ売り1枚300円)

制作／発売元：ファミリー・フォーラム・ジャパン

2. 確認コーナー

以下のことについて、家族で、グループで、意見交換しましょう。

- ①あなたは「家庭」とはどのようなものだとまとめますか？その理由は？
- ②「家庭の中心は夫婦である」ということについて、どういうことを感じますか？
- ③「愛する」ということを実践的なことばに置き換えて表現してみてください。マケリゴット先生は、「尊敬すること・励ますこと・赦すこと・感謝すること」と表現しました。
- ④人間尊重ということを家庭の中でどのように表していきたいと思いませんか？
- ⑤家族の中で、無関心・無配慮になっていることはありませんか？思い返してみましょう。

3. あかしをしよう！

- ① このビデオを鑑賞して、自分の家庭に対する思いが変わったことについて他の人にあかししてみましよう。
- ② これから「愛する」ということをどのように実践していきたいか、他の人にあかししましよう。

《3》 セミナー紹介

【1】「エンリッチ・プリマリセミナー」

1. 概要

このセミナーは、離婚大国アメリカで考案されました。

1968～1976年に、デビット・オールソン博士らによって作成された家族療法のための資料を基にして、1977年に開発されたプログラムです。アメリカでは、このプログラムの、製造販売もとの、Life Innovation は、Family Ministry の大会の主催者の一人のようで、ミニストリーとしての側面も強くもっています。

2. 内容

(1) 目的

- ① お互いの理解を深めるための教育
- ② 自分たちの弱み・強みの理解
- ③ 自分たちの目指すところの理解
- ④ コミュニケーションスキルの養成
- ⑤ 深刻な対立や離婚の予防

⇒互いが自分の課題として取り組むべきこと・互いに受け入れ合い歩み寄ることを自覚し、源家族からの影響があることを互いに認識し合い、自分たちで新しい家庭形成を目指すことを啓発・支援すること。

(2) 目標

- ① 二人の関係における課題と強みの認識
- ② 役立つコミュニケーションスキルの習得
- ③ 「10ステップ」または「話し合いのガイド」を用いて問題解決の術を学ぶ
- ④ ファミリーマップを用いて、二人の生まれ育った家庭や現在への影響を知る
- ⑤ 予算や金銭的プランを立てる
- ⑥ 個人として、夫婦として、家族としてのゴールの設定

(3) 手順

まず二人の現状を把握し、それをもとにカウンセリングを行う。

現状把握のためには、Life Innovation の許可を得た機関に郵送して行う診断と、インターネットを用いて設問に答えるカップルチェックアップの二種類の方法がある。

A. 診断を利用する場合

- ①二人が其々125設問に回答する。
- ②13項目にわたって診断結果が出る。(郵送によるやりとりのため、1～2週間かかる)。

結婚における期待と満足度、性格行動の傾向、コミュニケーション、葛藤の解決、家庭の経営管理、家族適応性、家族凝集性、性的関係、子ども&子育て、家族友人関係、性役割の平等性、家族の協力、余暇の過ごし方

*日本では、「プリペアーエンリッチ分析係」が診断を請け負っている。

連絡先：〒104-0041 中央区新富1-6-8 山田ビル2F

TEL: 03-3552-7012 mssl@circus.ocn.ne.jp

セミナー参加のカウンセラー認定者を通すと、一回7,350円。

- ③診断結果をもとに、カウンセラーが二人の強み・問題・課題を分析解釈する。
- ④それをもとに、フィードバック(カウンセリング)の時を持つ。1～3回。

B. カップルチェックアップを利用する場合

- ①以下のホームページから。

<http://rinshobokukai.main.jp/couplecheckup.html>

- ②二人が其々125設問に回答する。

費用は二人で3990円。

- ③四つの領域について分析結果が返信される。

a. 鍵となる二人の領域

コミュニケーション、対立の解決、家庭の経営管理、愛情&性的な期待、宗教的信念、家族&友人

b. 特別な領域

結婚(交際)における期待、結婚(交際)における課題、習慣&好み

c. お互いの家族背景

カップルの親密性と柔軟性、家族の親密性と柔軟性

d. 性格チェック(SCOPE)

S(社交性)、C(適応性)、O(几帳面さ)、P(協調性)、E(情緒の安定性)

- ④「話し合いのためのガイド」をダウンロードし、それをもとに、二人で話し合いの時を持つ。
- ⑤分析結果をもとに、カウンセラーが二人の強み・問題・課題を分析解釈し、フィードバック(カウンセリング)の時を持つ。

3. 考察

(1) 活用にあたっての利点

- ① 手軽な「道具」として用いることができる。2日間の講習受講でカウンセラーに認定される。
- ② 夫婦であるならば、まず自分たちの課題や問題に取り組むことになる。夫婦関係を見直したいと思っている時、伴侶にもその意識をもってもらうためのよいチャンスになるのではないか。
- ③ 牧会者たちによる「臨床牧会研究会」というサポートチームがある。
※臨床牧会研究会: 有田モト子氏をスーパーバイザーとする有志の牧会事例研究グループ。カウンセリングのケーススタディと、プリペアーのカウンセラー養成セミナー、テキストの翻訳を行っている。

(2) 活用にあたっての課題・問題点

- ① 質問内容の中に、日本人クリスチャンには馴染まないものがある。設問の前提にそぐわない場合は、答えにくい。
- ② エンリッチでは源家族のことがわからないので、工夫が必要。日本用にアレンジしたらいいと思うが、アメリカの許可が得られるか、また日本版診断システムを作成できるかという課題がある。
- ③ カップルチェックアップの場合、二人の回答結果の一覧がない。このため、どちらをフォローしたらよいか判断しにくい面がある。
- ④ 資格は取得しやすいが、実際の分析解釈に訓練が必要と思われる。
- ⑤ カウンセラーが牧会者の場合、カウンセリングなのか、牧会指導の内容(特に罪の問題)なのか、という葛藤を生じる場合もあるのではないか。

4. 実践事例

- (1) 教会内で結婚カウンセリングに使用
コミュニケーションの演習が効果的だった。
- (2) 伝道用ちらしとホームページで結婚カウンセリングしていることを紹介
ホームページを見て、カウンセリングを受けにきたカップルがいた。女性がミッションスクール出身で、男性は教会に来ること自体初めてだった。ハワイで挙式予定だったので、誓約の説明を行う中で神様の存在を伝えることができた。継続して集会案内している。

5. セミナー情報

(1) 連絡先

主催：臨床牧会研究会 Marriage Counseling 部門

事務局 西岡まり子師(042-395-7902)

nmariko7@hotmail.com

HP: <http://rinshobokukai.main.jp/prepareenrich.html>

協催：プリペアーエンリッチ分析係(03-3552-7012)

mssl@circus.ocn.ne.jp

HP: <http://www.matori.co.jp>

(2) 開催時期・場所・費用

時期：事務局に問い合わせる

所要時間は、10:00~17:00の二日間の講義とロールプレイ

場所：事務局に問い合わせる

費用：事務局に問い合わせる

(2009年は、テキスト代・登録料4,000円、診断体験実費7,350円、セミナー参加費10,000円)

【2】「マリッジコースセミナー」

1. 沿革

- ・マリッジコースはアルファコースから生まれた既婚者のための結婚セミナーです。
- ・アルファコースはイギリス、ロンドンにある聖公会、ホーリー・トリニティー・ブロンプトン教会から始まった伝道方策の一つです。

2. マリッジコースの目的

マリッジコースは生涯にわたって強い土台の結婚生活を作り、祝福された結婚生活を築きたいと願うすべての夫婦のためのものです。

結婚生活において、夫や妻が何によって愛されていると感じるかを発見し、その方法でパートナーを愛する努力をし、それは時と共に状況によって変わる場合もあるので、いつもパートナーの必要を受け入れそれによって愛を伝えるよう学んでいくことを学ぶものです。

イエス・キリストは、言葉、行動、時間、贈り物、触れることのすべてを用いて愛を示されました。またイエス・キリストが言われた「わたしがあなたがを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」の命令を夫または妻に最も多く実践する事を目指すものがこのコースの目的です。

スタート地点は、何がパートナーの一番目の愛の「言語」かを知ること、パートナーが最も愛されている、或いは無視されていると感じる事が何であるかまず一緒に話し合うことを目指しています。

マリッジコースは一回の学びで終了するものではなく、より良い結婚関係を更に築き上げていくために継続して学んで行くものです。

3. マリッジコースの内容

以下の内容を7セッションで学ぶコースです。

- ①しっかりした土台を築く
- ②コミュニケーションの方法
- ③衝突を解決する
- ④赦しの力
- ⑤家族の影響～過去と現在～
- ⑥豊かなセックス
- ⑦愛を実践する

4. 考察

(1) 活用にあたっての利点

- ① マリッジコースは、専門的カウンセリングの手法を用いるのではなく、比較的単純で具体的なマニュアルを用いるため、教団、宣教区、各個教会が導入しやすい。
- ② 通常7週間スケジュールで、その期間夫婦がお互いを見つめ合い与えられた課題について話し合う事ができるので、それぞれの夫婦にとって良い結果が得られ、お互いを見つめ合うという良いコミュニケーションの習慣がつく。
- ③ マリッジコースは、各セッションの受講だけでこのセミナーが終わるものではなく、「マリッジタイム」という夫婦だけで親密に向き合う時間（2時間）が設けられており、日常生活に追われていかに夫婦だけで向き合い話し合う時間が少ないかということを感じさせ、また各セッション毎のマリッジタイムでそのセッションで学んだことを実践していく機会も与えられ良い習慣が継続しやすい。
- ④ 一つ屋根にいつも共に暮らし、何も問題はないと思っていなくても、実はお互いの事について知らない部分がたくさんあり、このマリッジコースはそのことを気付かせ、そこにある問題について夫婦でしっかり向き合い、話し合い、愛を持って克服していくことの大切さを学ぶことができるきっかけになるもの。
- ⑤ マリッジコースに参加するまでの課程には、各家庭においてそれぞれ問題が生じていると感じていても感じていなくても、参加に至るまでには祈りと熱意が必要となり、夫婦という原点に於いて信仰が整えられる。
- ⑥ 参加するに至っても、各セッションでの話し合いで今まで隠されていた夫婦の問題が明らかにされ、その問題にお互いに真っ向から向き合うので、途中でショートしてしまいそうになるケースもあるが、(その場合フォローが必要となるが)、ここに教会で開催する意味がある。
- ⑦ このコースは、まさに時代の要請に応える伝道プログラムであると判断され、教会が社会にインパクトを与える可能性を有すると考えられる。クリスチャンであってもノンクリスチャンであっても夫婦それぞれが向き合うコースであるので、人間の心の中にある罪の赦しをしなければ先に進むことができず、(セッション4「赦しの力」)。その結果、再度悔い改めに導かれたり、ノンクリスチャンの場合、求道し始め洗礼に導かれるというケースもあり、マリッジコースを伝道場として用いることができる。

(2) 活用にあたっての課題・問題点

- ① 7セッション（7週間プログラム）という相当の時間数を必要とするため、正規のプログラムボリュームを教団や宣教区の集会として開催するには無理があると思われる。
 - ・ひとつひとつの課題にしっかりと向き合うために、週に1回セッションを開催し、7週間で終了する。
- ② このセミナーを開催するにあたっての課題としては、教職だけではなく、信徒レベルで本気で関わるリーダーたちが養成されることが不可欠である。

5. 連絡先

マリッジコースのプログラム、マニュアルについてのお問い合わせ先
(夫婦が使用するマニュアル、DVD、プログラムの進め方トーク集など)

益田良一師・静子師

グレースコミュニティ牧師

札幌市手稲区曙2-2-4-15

TEL: 011-683-5523

E-mail: office@grace-community.or.jp

《4》 付録

【1】「著名人クリスチャンの結婚生活」

著者：中村敏

1. この本を読むにあたって

書籍名：「著名人クリスチャンの結婚生活

—ルターから三浦光世・綾子夫妻まで—」

著者：中村 敏

1949年生まれ。新潟県出身。聖書神学舎、トリニティー神学校卒。
新潟聖書学院院長。

出版社：ファミリーフォーラムジャパン

出版年：2009年

本の要点：

この本は、通常のキリスト教史が取り上げられる中では、これまで触れられることがなかった著名なクリスチャンの夫婦生活に焦点があてられた貴重な書籍であると言えます。

まえがきで著者自身がこのように記しています「幸いな結婚生活こそ、すべての営みの土台である。しかし、すべての結婚がうまくいったわけではない。破綻に終わった、たくさんの結婚生活もある。幸いな結婚生活から、私たちは励まされ、多くのことを教えられる。同時に失敗した結婚からも、貴重な教訓を得ることができる。」

著名なクリスチャンの生活に目を向け、時には学び、また時には反面教師のようにして見ることで、それぞれの結婚生活に生かしてほしいということが著者の願いでしょう。

本の内容：

この本は、5人の外国人クリスチャン（ルター、カルヴァン、トルストイ、ヘボン、シュヴァイツァー）、12人の日本人クリスチャン（細川ガラシャ、森有礼、井深樞之介、小崎弘道、植村正久、内村鑑三、新渡戸稲造、中田重治、山室軍平、賀川豊彦、矢内原忠雄、三浦光世と綾子）の結婚生活について書かれています。性別、時代、立場など様々な違いを持った人物がどのように相手と出会い、結婚へと導かれ、またどのような家庭を築いていったの

かが様々資料をもとに記されています。

また特筆すべきこととしては、著者である中村敏師ご夫妻の結婚に至る導きと結婚生活についてのことが赤裸々に記されています。

また、夫婦、家族がテーマにされている本には、祝福された例を取り上げることが多くあるのですが、悲しい結果に終わる夫婦のことも記されていることは、著名人たちも失敗から学ぶことがあったという励まし、慰めにもなると思います。



タイトル：紹介書籍・DVD・セミナー

発行年月日：2012年2月 日

レポーター：菊池真恵美、徳梅陽介、中尾信一、朴忠勲、藤田真木子、
丸山園子、三浦峰人、

編集発行：家庭教育部

印刷製本：教団事務所